

たきざかタブレット通信

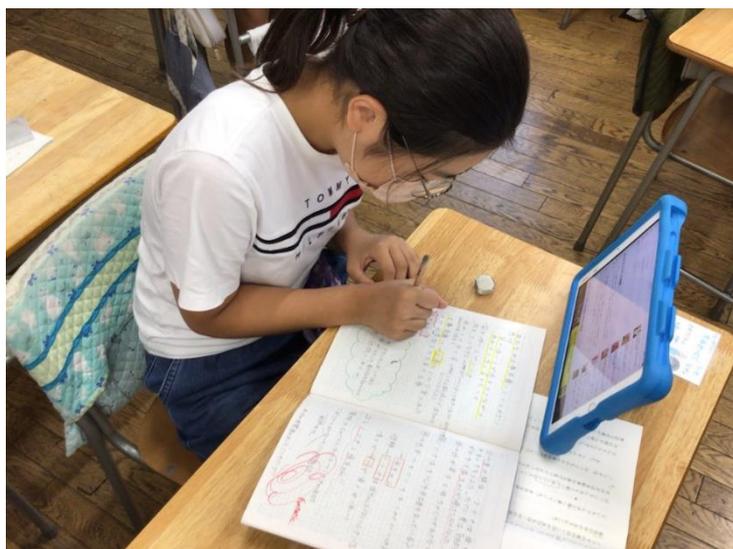
令和4年9月5日
調布市立滝坂小学校
情報教育部
NO.4

各学年のタブレットの実践例についてお知らせしています。今回は6年生の活用事例を紹介します。

①意味調べ

～疑問に思ったら、すぐに調べる～

国語「川とノリオ」では、一つ一つの言葉に着目し、登場人物の気持ちを読み取りました。「川っぶちにはもう青い いぬのふぐりがさいて、」という表現に注目し、「いぬのふぐりってどんな植物?」、「花言葉は?」と、自ら調べ、ここに登場人物の心情が表れていると考えることができました。また、友達の見解を聞いて、「悲しい」と「寂しい」との言葉の違いを調べる子供もいました。疑問に思ったことを自らすすんで調べる姿が多く見られるようになりました。



②オンライン授業

～自宅からでも友達と交流できる～



オンライン授業を始めた当初は、一斉授業を映すことが中心でしたが、今では教室の友達との交流にも活用しています。グループに分かれておすすめの本を紹介し合う「ビブリオバトル」では、オンラインで授業を受けている児童も参加し、発表しました。学校を休んでもクラスの友達と交流できることが子供たちの安心感につながっています。

次回、10月号では情報モラルの学習の様子をお伝えしていきます。